

# 基礎研 レポート

## 「東日本大震災による被害・生活環境・復興に関するアンケート」 2014年調査結果概要

福島県双葉町民を対象とした第2回調査

保険研究部 研究員 岩崎 敬子  
(03)3512-1882 kiwasaki@nli-research.co.jp

### 1—基本情報

「東日本大震災による被害・生活環境・復興に関するアンケート」調査は、東京大学「災害からの生活基盤復興に関する国際比較」プロジェクト（東京大学大学院経済学研究科 教授 澤田康幸、ニッセイ基礎研究所 研究員 岩崎敬子）によって、東日本大震災による原子力発電所の事故で全町民が避難を余儀なくされた福島県双葉町の全世帯主の皆様を対象に2013年から行われてきた調査である（過去実施：2013年7月、2014年12月、2016年7月、2017年12月、2019年7月）。本稿では、2014年12月に実施した第2回目のアンケート調査の結果概要を報告する<sup>1</sup>。

表1. 基本情報

対象	福島県双葉町の全世帯主
アンケート配布数	2,900件
アンケート配布日	2014年12月1日
アンケート回収期間	2014年12月1日～2014年12月31日
回答者数	654名
回答率	約23%

アンケート調査の項目には、年齢や性別等の基本的な属性の他、人とのつながり（ソーシャル・キャピタル）や健康状態に関する項目が含まれ、アンケート調査用紙は、双葉町の広報が配布されているすべての世帯（2,900件）に配布させて頂いた。回答は、全国に避難されている双葉町民654名より頂いた（回答率約23%）。

本調査は世帯主の方を対象としており、年齢、性別の分布については図1、図2の通りである。こ

<sup>1</sup> 本研究は、以下の研究助成によって実施されてきた。記して深謝する。  
科研費（15J09313、26220502、LZ003）、日本経済研究センター研究奨励金  
また、この調査は東京大学倫理委員会の承認（19-73）のもと実施した調査である。

のように、国勢調査の年齢・性別分布に比べると、回答者の年齢分布は60代、70代の方が多く、性別の分布は男性の回答者が多いという偏った分布である。加えて、震災という大変な状況が起こった後にご協力いただいた調査なので、回答者の傾向が一般的なアンケート調査とは大きく異なっている可能性も考えられる。そのため、本調査の結果が、必ずしも双葉町民全体の傾向を示すものではないことにご留意頂きたい。

図1. 回答者の年齢構成

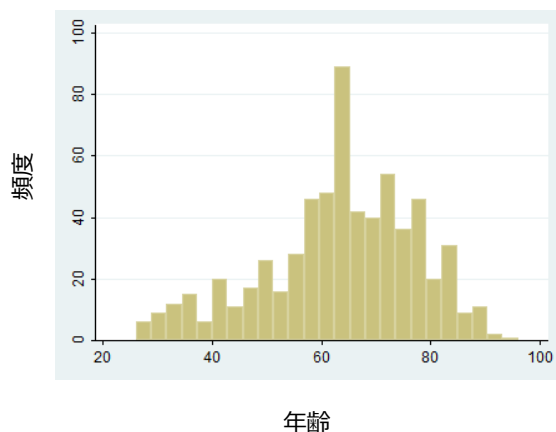
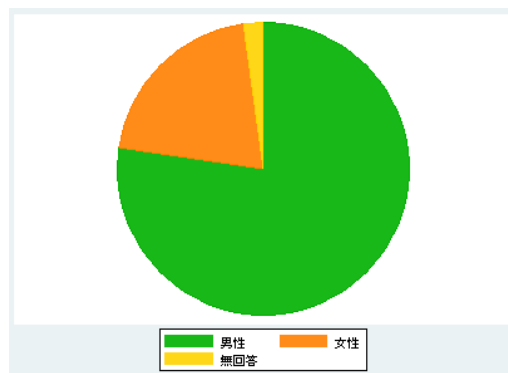


図2. 回答者の男女比



## 2—社会関係資本の変化について

社会関係資本とは、信頼関係やネットワークなどを指し、「きずな」ということばであらわされることもある。この社会関係資本は震災復興の鍵概念として注目されている概念である。2013年にご協力頂いた調査の結果からは、双葉町ではこのような社会関係資本に関わる項目が震災によって減少させられている可能性があることが示された。さらに、今回（2014年）の調査で、その社会関係資本の回復には、長い時間がかかる可能性があるということが示された。

社会関係資本を図る指標として一般的に使われている指標はいくつかあるが、ここでは3つの項目に注目した。「一般的な人への信頼感」「近所の人との助け合いの頻度」「近所の人への信頼感」である。図3、図4、図5から、この3つの指標についてはどれも、震災前と比較して減少しており、また、2013年から2014年での回復はほとんど見られない、または、ごくわずかであることがわかる。このことから、震災で減少させられた社会関係資本の回復には長い時間がかかる可能性があることがわかる。

図3. 一般的な人への信頼感

「一般的に人は信用できると思いますか。」

「それとも、人と付き合うときには、できるだけ用心した方がよいと思いますか。」

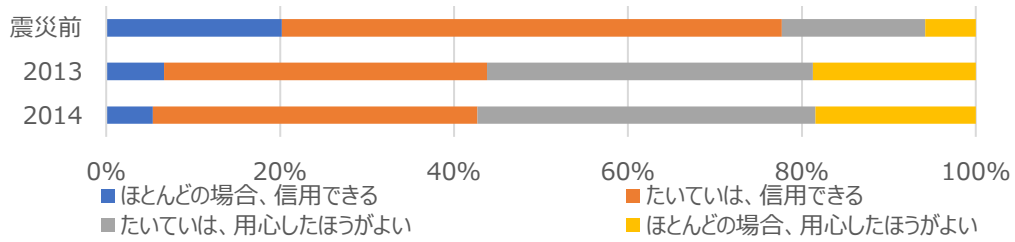


図4. 近所の人との助け合いの頻度

「ご近所付き合いで、世帯主の家族がものをあげたり、手助けしたり、逆にものをもらったり、助けてもらったりという関係はどのくらいありますか。」

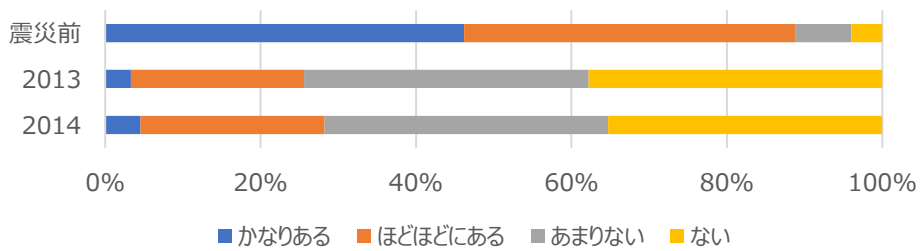
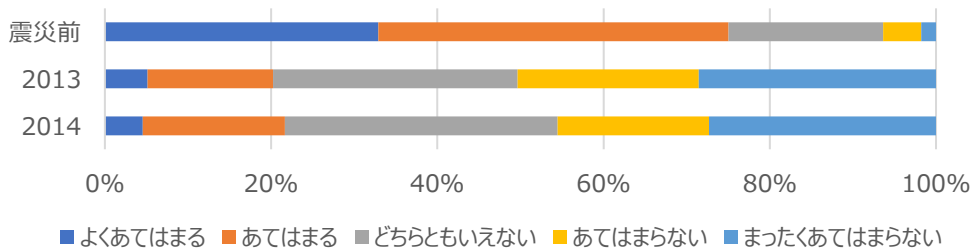


図5. 近所の人への信頼感

「近所の人には私が困っていたら手助けしてくれる。」

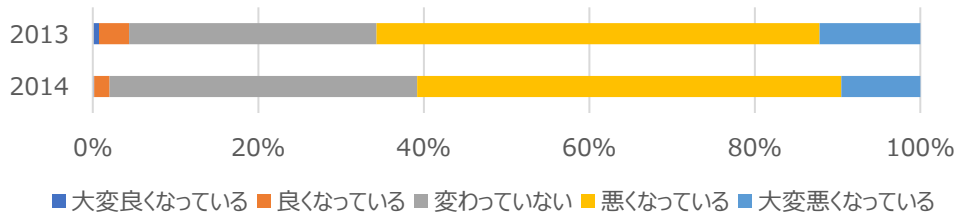


### 3—健康状態について

健康状態について、多くの回答者の方が震災前にくらべて、ご自身の健康状態が悪化しているとの自己評価をされている。2013年にご協力頂いた調査と比較しても、2014年の調査でもほとんど変わらない割合の方々の健康状態が悪化している可能性があることが示された。

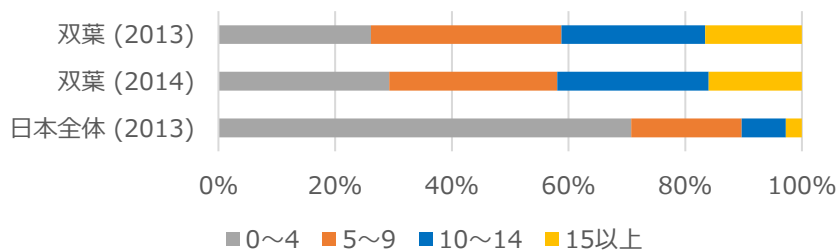
図6. 主観的健康状態

「世帯主の健康状態について伺います。  
現在の健康状態は震災前と比べるといかがですか。」



また、こころの健康状態について、図7のように、国が行った日本全体の調査の結果と比較して双葉町民の回答者の皆さまの回答結果を集計すると K6 と呼ばれる全般的なストレス状態を診断する指標の数値が高い（こころのストレスが大きい）傾向がある可能性が示された。K6 とは国際的に使用されている全般的なこころの健康状態を示す指標で6つの質問から成り、その合計の点数が高いほど、こころにストレスを抱えている可能性が高いと考えられている。

図7. 双葉町と日本全体のK6

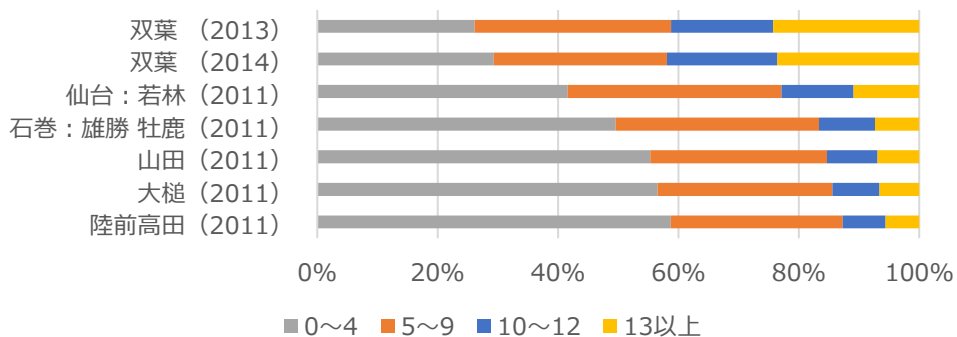


注) この指標は心理的ストレスの度合いを示すもので、大きな値ほどストレスの程度が高いと考えられる。

出典) 日本全体: 国民生活基礎調査 (2013)

双葉町: 東京大学「災害からの生活基盤復興に関する国際比較」プロジェクトによるこれまでの調査

図8. 被災地域のK6



注) この指標は心理的ストレスの度合いを示すもので、大きな値ほどストレスの程度が高いと考えられる。

出典) 双葉町: 東京大学「災害からの生活基盤復興に関する国際比較」プロジェクトによるこれまでの調査

その他地域: 東日本大震災被災者の健康状態等に関する調査 (研究代表者: 林謙治) 2012

K6 の調査は、双葉町以外の被災地でも、震災後に国により調査が行われ、結果が公表されている。図 8 で見られるように、本調査の回答結果を集計した K6 の双葉町における値はこれらの他の被災地での調査の結果と比べても大きい可能性があることがしめされた。将来への不安など、人災と呼ばれる災害が自然災害に比べてより大きな、そして長期的なこころのストレスをもたらす可能性があるとは私たちは考えている。

また、2013 年にご協頂いた調査と 2014 年、この度の調査でご協力頂いた調査の分布を比較すると、約 1 年半の間で、若干だが、K6 の値が 10 以上の方の割合が減少した。つまり、他の被災地域と比べても、双葉町の皆様のストレス状態は依然大きい可能性があるものの、少しずつ改善されている可能性があることが示唆される。

しかしながら、この調査結果が必ずしもすべての双葉町の皆さまに当てはまるわけではなく、K6 の値が高いからといって精神的な疾患があると断定されるものではない。あくまで、政策的な示唆を行政などに与えるための調査であることを申し添える。

それでは、どういった方が、このような震災被害にも関わらず低い K6 の値を保つことができた傾向があるのだろうか。年齢、性別などを考慮に入れて 2013 年にご協力頂いた調査をもとに、さらなる分析を行った結果、震災後の健康状態の悪化の傾向が少なかった方、震災後の収入の高い方、そして、社会関係資本の値が高い方が、低い K6 の値を保つことができている可能性があることが示唆された。そして、社会関係資本がこころの健康状態につながるメカニズムとしては、図 9 の流れが考えられることが示唆された。

図 9. 社会関係資本とこころの健康

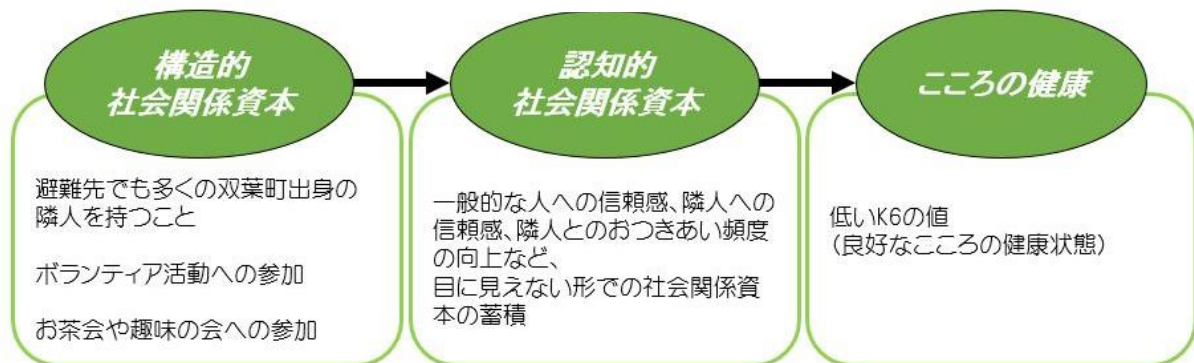


図 9 で見られるように、避難先で多くの双葉町出身の隣人を持つ方、ボランティア活動やお茶会など趣味の会への参加機会がある方の、一般的な人や、隣人への信頼感が高く、さらにそうした方のこころの健康状態が良い傾向があるということが分かった。

また、震災前後の生活を比較して、失ったものが大きい方ほど、こころの健康状態が悪化した可能性があることも示された。具体的には、就労収入が震災前と比較して大きく減少した方、震災前と比較して居住空間が大きく減少した方、また、身体的な健康状態が震災前と比較して悪化した方のこころの健康状態が悪化した可能性があるということが示された。

これらの結果は国内外の学会で発表し、また国際的な学術誌で発表をしてくれている。今後も分析を

進め具体的な提案につなげていく所存である。

本調査結果は、調査にご協力頂いた約 23%の双葉町の世帯の方のご回答のみを集計・分析した結果であり、この結果が双葉町民の方全員の傾向を表すものではございません。震災という大変な状況が起こったあとにご協力いただいた調査であるため、回答者の内訳は一般的なアンケート調査とは大きく異なっている可能性もございます。その為、健康状態の自己評価についての集計や、こころの健康状態についての集計においても、過大評価がされている可能性がございます。結果の解釈には十分な注意が必要であり、この調査結果のみによる断定的な判断は避ける必要がありますことにご留意いただければ幸いです。

資料：集計結果

この調査票を記入していただいているのはどなたですか。

	頻度	割合
世帯主本人	448	68.50
配偶者	111	16.97
その他	27	4.13
無回答	68	10.40
合計	654	100.00

1. 世帯主についてお聞かせください。

(1) 世帯主の基本的な情報についてお聞かせください。

ア) 年齢 平均：63歳 最年長：96歳 最年少：26歳

イ) 男性：77.4% 女性：20.5% 無回答：2.1%

ウ) 現在のお住まい

全国各地からご回答いただきました。ありがとうございます。

集計結果は省略させていただきます。

(2) 現在のお住まいの種類

	頻度	割合
仮設住宅	57	8.72
アパート（賃貸）	141	21.56
マンション（賃貸）	36	5.50
戸建（賃貸）	65	9.94
公務員宿舎	13	1.99
県民・市営住宅	26	3.98
震災前と異なる持家（戸建）	211	32.26
震災前と異なる持家（マンション）	22	3.36
社宅	13	1.99
親戚の家に在住	20	3.06
その他	37	5.66
無回答	13	1.99
合計	654	100.00

(3) お住まいの広さについて教えてください

現在のお住まいの土地・住居面積の広さをお答えください。

土地面積：

	頻度	割合
0～100 平米	54	8.26
100～200 平米	59	9.02
200～300 平米	82	12.54
300 平米～	127	19.42
無回答	332	50.76
合計	654	100.00

住宅面積：

	頻度	割合
0～40 平米	51	7.80
40～80 平米	77	11.77
80～120 平米	41	6.27
120 平米～	236	36.09
無回答	249	38.07
合計	654	100.00

(4) 世帯主の現在のお仕事に一番近いものをお選びください。

	頻度	割合
お勤め（会社員）	129	19.72
お勤め（公務員）	29	4.43
開業医、弁護士等の自由業	2	0.31
農業・林業	7	1.07
自営業	30	4.59
アルバイト	17	2.60
家事	22	3.36
定年退職・引退	156	23.85
無職・休職中	220	33.64
その他	29	4.43
無回答	13	1.99
合計	654	100.00

(5) 世帯主の震災前のお仕事に一番近いものをお選びください。

	頻度	割合
お勤め（会社員）	237	36.24
お勤め（公務員）	51	7.80
開業医、弁護士等の自由業	2	0.31
農業・林業	69	10.55
水産業	1	0.15
自営業	78	11.93
アルバイト	13	1.99
家事	15	2.29
定年退職・引退	81	12.39
無職・休職中	49	7.49
その他	44	6.73
無回答	14	2.14
合計	654	100.00

(6) 世帯主の最終学歴をお知らせください。

	頻度	割合
中学	56	8.56
高校	344	52.60
専門学校	72	11.01
短期大学	22	3.36
大学	101	15.44
大学院	6	0.92
その他	4	0.61
無回答	27	4.13
合計	654	100.00

(7) 震災前後の世帯主の家族・親戚の構成をお教えください。

世帯主の同居家族の人数は何名ですか？

	現在 (%)	震災前 (%)
1名	20.95	11.47
2名	34.40	22.48
3名	21.41	22.48
4名	11.31	15.29
5名	4.13	10.55
6名	3.36	8.10
7名以上	2.75	5.20
無回答	1.68	4.43
合計	100.00	100.00



(8) 世帯主の健康状態について伺います。現在の健康状態は、震災前と比べるといかがですか。

	頻度	割合
大変良くなっている	1	0.15
良くなっている	12	1.83
変わっていない	237	36.24
悪くなっている	327	50.00
大変悪くなっている	61	9.33
無回答	16	2.45
合計	654	100.00

(9) 震災前と比較すると体重の変化はありましたか。

	頻度	割合
増加した	83	12.69
やや増加した	151	23.09
変わらない	173	26.45
やや減少した	155	23.70
減少した	79	12.08
無回答	13	1.99
合計	654	100.00

(10) 現在、あなた(世帯主)はどの程度幸せですか。「とても幸せ」を 10 点、「とても不幸」を 0 点とすると、何点くらいになるとお思いますか。

	頻度	割合
とても不幸 0	35	5.35
1	29	4.43
2	56	8.56
3	121	18.50
4	75	11.47
5	181	27.68
6	48	7.34
7	25	3.82
8	43	6.57
9	8	1.22
とても幸せ 10	12	1.83
無回答	21	3.21
合計	654	100.00

(11) 過去 30 日間に世帯主はどれくらいの頻度で次のことがありましたか。(K6)

点数基準	全 く な い	少 し だ い け	と き ど き	た い つ て も	
神経過敏に感じましたか。	0	1	2	3	4
絶望的だと感じましたか。	0	1	2	3	4
そわそわ、落ち着かなく感じましたか。	0	1	2	3	4
気分が沈み込んで、何が起ころとも気が晴れないように感じましたか。	0	1	2	3	4
何をすることも骨折れだと感じましたか。	0	1	2	3	4
自分は価値のない人間だと感じましたか。	0	1	2	3	4

合計点数分布：

	頻度	割合
0~4 点	174	26.61
5~8 点	122	18.65
9~12 点	158	24.16
13~16 点	79	12.08
17 点以上	61	9.33
無回答	60	9.17
合計	654	100.00

(12) 被災者の方々の避難生活のための環境の変化に伴い、自宅での料理が困難となり、外食の増加のための健康被害が懸念されています。現在は 1 週間の内で何回ほど外食されていますか。震災前は、何回ほど外食されていましたか。

	現在 (%)	震災前 (%)
0 回	34.25	58.72
1 回	30.28	29.97
2 回	15.44	6.73
3 回	8.56	1.53
4 回	4.13	0.92
5 回以上	3.67	0.61
無回答	3.67	1.53
合計	100.00	100.00

(13) 健康問題に関して、交通の不便による活動の制限が懸念されています。

ア) 震災後、新しい車をご購入になりましたか。

	頻度	割合
はい	391	59.79
いいえ	242	37.00
無回答	21	3.21
合計	654	100.00

イ) ご購入された方へ質問です。同居家族全体で、震災後、車を何台ご購入になりましたか。

	頻度	割合
1 台	222	58.89
2 台	112	29.71
3 台	29	7.69
4 台	11	2.92
5 台	3	0.80
合計	377	100.00



2. ご近所付き合いなどについてお聞かせください。

(1) 震災前、世帯主は、双葉町のどちらの大字にお住まいでしたか。

	頻度	割合
石熊	10	1.54
山田	48	7.34
松迫	2	0.31
水沢	6	0.92
目さく	7	1.07
郡山	47	7.19
上羽鳥	10	1.53
新山	144	22.02
松倉	7	1.07
寺沢	10	1.53
渋川	9	1.38
鴻草	21	3.21
細谷	16	2.45
下羽鳥	13	1.99
中田	5	0.76
長塚	188	28.75
両竹	10	1.53
中浜	7	1.07
中野	12	1.83
前田	69	10.55
その他	5	0.76
無回答	8	1.22
合計	654	100.00

(2) 現在のお住まいの近隣には、双葉町在住時には知り合いでなかったものの、避難を通して同じ双葉町民として知り合った方はどれくらい住んでいらっしゃいますか。

	頻度	割合
20世帯以上	41	6.27
10～19世帯	25	3.82
6～9世帯	32	4.89
3～5世帯	71	10.86
1～2世帯	136	20.80
いない	334	51.07
無回答	15	2.29
合計	654	100.00

(3) 現在のお住まいの近隣には、双葉町在住時知り合いだった双葉町民の方はどれくらい住んでいらっしゃいますか。

	頻度	割合
20世帯以上	13	1.99
10～19世帯	27	4.13
6～9世帯	46	7.03
3～5世帯	78	11.93
1～2世帯	150	22.94
いない	324	49.54
無回答	16	2.45
合計	654	100.00

(4) ご近所付き合いで、世帯主の家族がものをあげたり、手助けしたり、逆にものをもらったり、助けてもらったりという関係は震災前はどのくらいありましたか？また、現在はどのくらいありますか。

	現在(%)	震災前(%)
かなりあった	4.43	40.98
ほどほどにあった	23.09	43.43
あまりなかった	35.63	8.41
なかった	34.40	5.35
無回答	2.45	1.83
合計	100.00	100.00

(5) 近所の人は私が困っていたら手助けしてくれる。

	現在(%)	震災前(%)
よくあてはまる	4.43	33.18
あてはまる	16.67	38.53
どちらともいえない	31.96	19.42
あてはまらない	17.74	3.98
まったくあてはまらない	26.61	2.91
無回答	2.60	1.99
合計	100.00	100.00

(6) 震災前と震災後の生活について教えてください。  
ドアの鍵を開けたまま外出することがよくある。

	現在(%)	震災前(%)
はい	5.05	51.99
いいえ	90.83	45.57
わからない	1.38	0.61
無回答	2.75	1.83
合計	100.00	100.00

友人にお金やものを貸すことがよくある。

	現在(%)	震災前(%)
はい	3.06	26.76
いいえ	91.74	68.20
わからない	1.53	2.14
無回答	3.67	2.91
合計	100.00	100.00

ほとんどの人は公平にしようとしていると思う。

	現在(%)	震災前(%)
はい	35.78	65.14
いいえ	22.63	8.26
わからない	37.46	23.55
無回答	4.13	3.06
合計	100.00	100.00

自分はまわりから信用されていると思う。

	現在(%)	震災前(%)
はい	20.49	55.50
いいえ	15.90	5.81
わからない	60.40	36.09
無回答	3.21	2.60
合計	100.00	100.00

(7)現在参加しているボランティア活動や趣味の活動などについて教えてください。

ア) ボランティア活動に参加することがある。

	頻度	割合
はい	86	13.15
いいえ	554	84.71
無回答	14	2.14
合計	654	100.00

イ) 趣味の活動に参加することがある。

	頻度	割合
はい	169	25.84
いいえ	463	70.80
無回答	22	3.36
合計	654	100.00

ウ) 同居家族以外で一日に挨拶する人の平均的な人数

	頻度	割合
0名	95	14.53
1～3名	260	39.76
4～6名	123	18.81
7～9名	8	1.22
10～19名	85	13.00
20～29名	26	3.98
30名以上	19	2.91
無回答	38	5.81
合計	100.00	100.00

(8) 一般的に、人は信用できると思いますか。それとも、人と付き合うときには、できるだけ用心したほうがよいと思いますか。

	現在(%)	震災前(%)
ほとんどの場合、信用できる	5.20	20.95
たいていは、信用できる	36.24	55.20
たいていは、用心したほうがよい	37.77	16.21
ほとんどの場合、用心したほうがよい	17.89	5.35
無回答	2.91	2.29
合計	100.00	100.00

3. 皆様のうけた被害と支援実態についてお聞かせください。

(1) 震災前のお住まいの所有形態はどちらにあたりますか。

	頻度	割合
持家(戸建)	525	80.28
持家(マンション)	1	0.15
戸建(賃貸)	22	3.36
マンション(賃貸)	3	0.46
アパート(賃貸)	17	2.60
公営住宅	34	5.20
社宅	18	2.75
親戚の家に在住	13	1.99
その他	10	1.53
無回答	11	1.68
合計	654	100.00

(2) 震災前のお住まいの土地・住居面積の広さをお答えください。

土地面積:		
	頻度	割合
0～100平米	13	1.99
100～300平米	78	11.93
300～500平米	170	25.99
500～1000平米	151	23.09
1000平米～	88	13.46
無回答	154	23.55
合計	654	100.00

住宅面積:		
	頻度	割合
0～40平米	20	3.06
40～80平米	37	5.66
80～120平米	63	9.63
120平米～	421	64.37
無回答	113	17.28
合計	654	100.00

(3) 地震、津波等による双葉町のお住まいの被害状況を放射能汚染の被害を含まずに1つお選び下さい。

	頻度	割合
全壊	34	5.20
半壊	79	12.08
一部損壊	247	37.77
大きな被害無	243	37.16
その他	15	2.29
無回答	36	5.50
合計	654	100.00

(4) 住宅、土地、家財の賠償について、その評価額が十分でないのではないかということが、社会的な問題となっております。受け取られた賠償額をお教えてください。

集計結果は省略させていただきます。

(5) 東日本大震災による被災者の方々が、経済的に厳しい状況にあることが、マスクミなどでも取り上げられ、社会的な問題となっております。震災前と現在の年収についてご記入ください。

集計結果は省略させていただきます。

(6) 世帯主は、将来町に戻るおつもりですか。

	頻度	割合
はい	66	10.09
まだ決められない	184	28.13
戻らない	387	59.17
無回答	17	2.60
合計	654	100.00

(7) 町に戻るおつもりの方はそれまでの間、戻らないつもりの方、もしくはまだ決められない方はこれから先長期的に生活する場所を既に決めていらっしゃいますか。

	頻度	割合
はい	257	39.30
まだきめていない（わからない）	225	34.40
無回答	172	26.30
合計	654	100.00

(8) 震災後の生活で困っていること、日ごろお気づきのこと、感じておられることなどご自由にお書き下さい。

たくさん大変貴重なご意見を頂きました。  
ありがとうございました。

以上